

令和8年度明石市農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

本市は、耕地面積 398ha のうち田耕地面積が 379ha と 95%を占めている。温暖な気候と大都市に近い地理的条件を背景に、野菜、花き、果樹等の転換作物の占める割合が高く、都市近郊型農業を行ってきた。しかしながら作付面積は、年々減少している。野菜、花き、果樹等の転換作物の作付を促進することで産地の維持とともに水田面積の維持を図る。

また、農業者の高齢化に伴い、不作付地の拡大が進んでおり、そのような農地を担い手に集積をしていく必要がある。

2 高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

消費地に近いメリットを活かすため、産地交付金を有効利用し、振興を図る作物の産地の形成・維持・拡大を行う。転換作物等の付加価値を向上させるため、野菜、果樹等のブランド化を推進し、収益力の強化を図る。

3 畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

高収益作物の生産と、需要に応じた米生産のバランスを考慮し、農業者の意向を汲みながら、水稻作に活用される見込みがない農地については、水田台帳等を活用しながら作付体系を定期的に点検し、畑地化支援を含め検討していく。

4 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

環境にやさしい農法で作られたお米等、付加価値をつけたブランド米の生産を促進することで、需要拡大を図る。

(2) 備蓄米

現在、生産していないが、需要動向を把握しながら作付に意欲的な農業者に対し支援を行う。

(3) 非主食用米

ア 飼料用米

現在、生産していないが、需要動向を把握しながら作付に意欲的な農業者に対し支援を行う。

イ 米粉用米

現在、生産していないが、需要動向を把握しながら作付に意欲的な農業者に対し支援を行う。

ウ 新市場開拓用米

現在、生産していないが、需要動向を把握しながら作付に意欲的な農業者に対し支援を行う。

エ WCS 用稲

現在、生産していないが、需要動向を把握しながら作付に意欲的な農業者に対し支援を行う。

オ 加工用米

現在、生産していないが、需要動向を把握しながら作付に意欲的な農業者に対し支援を行う。

(4) 麦、大豆、飼料作物

麦は現在、生産していないが、大豆、飼料作物について僅かに生産をしており、需要動向を把握しながら作付に意欲的な農業者に対し支援を行う。

(5) そば、なたね

現在、生産していないが、需要動向を把握しながら作付に意欲的な農業者に対し支援を行う。

(6) 地力増進作物

現在、緑肥として、水稻の裏に多く作付されている。環境保全の観点から作付に意欲的な農業者に対し支援を行う。

(7) 高収益作物

消費地に近いメリットを活かすため、産地交付金を有効利用し、振興を図る作物の産地の形成・維持・拡大を行う。

5 作物ごとの作付予定面積等

～

8 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

5 作物ごとの作付予定面積等

(単位:ha)

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和8年度の作付目標面積等	
		うち 二毛作		うち 二毛作		うち 二毛作
主食用米	266.05		260		247	
備蓄米						
飼料用米						
米粉用米	0.09					
新市場開拓用米						
WCS用稲						
加工用米						
麦						
大豆	0.37		0.4		0.05	
飼料作物	0.49				0.5	
・子実用とうもろこし						
そば						
なたね						
地力増進作物						
高収益作物	99.96		102.0		101.8	
・野菜	98.05		100		100	
・花き・花木	0.73		0.8		0.8	
・果樹	0.81		0.8		0.5	
・その他の高収益作物	0.37		0.4		0.5	
その他						
・						
畑地化						

6 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標		
				前年度（実績）	目標値
1	キャベツ・いちご・スイートコーン・ブロッコリー	基本助成 （特別振興作物）	作付面積拡大	（令和7年度）31ha	（令和8年度）40ha
2	いちじく・トマト・軟弱野菜 （ホウレンソウ、ニラ、シュンギク、チンゲンサイ、シロナ、コマツナ、ミズナ、セリ、ミツバ等）・花き類（花き、花木、種苗類）・レタス・オクラ・はくさい・ブルーベリー・ぺっちゃんうり・たまねぎ・れんこん・カリフラワー・きゅうり・ねぎ類	基本助成（振興作物）	作付面積拡大	（令和7年度）6ha	（令和8年度）8ha
3	野菜、果樹、黒大豆 （「対象作物一覧表」の整理番号3に該当する作物）	基本助成（奨励作物）	作付面積拡大	（令和7年度）5ha	（令和8年度）7ha

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

7 産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：

協議会名：明石市農業再生協議会

整理 番号	使 途 ※1	作 期 等 ※2	単 価 (円/10a)	対 象 作 物 ※3	取組要件等 ※4
1	基本助成(特別振興作物)	1	22,000	キャベツ・いちご・スイートコーン・ブロッコリー	作付面積に応じて支援
2	基本助成(振興作物)	1	13,000	いちじく・トマト・軟弱野菜(ホウレンソウ、ニラ、シュンギク、チンゲンサイ、シロナ、コマツナ、ミズナ、セリ、ミツバ等)・花き類(花き、花木、種苗類)・レタス・オクラ・はくさい・ブルーベリー・ぺっちゃんうり・たまねぎ・れんこん・カリフラワー・きゅうり・ねぎ類	作付面積に応じて支援
3	基本助成(奨励作物)	1	10,000	野菜、果樹、黒大豆 (「対象作物一覧表」の整理番号3に該当する作物)	作付面積に応じて支援

※1 二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇(二毛作)」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携)」と記入してください。

ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。

なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇(耕畜連携・二毛作)」と記入してください。

※2 「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。

※3 産地交付金の活用方法の明細(個票)の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。

※4 産地交付金の活用方法の明細(個票)の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。